ネットワークサービス

利用できるネットワークサービス

- FOMA 端末では、次のようなドコモのネットワークサービスをご利用いただけます。各サービスの概要や利用方法などについては、以下の表の参照先をご覧ください。

サービス名称	お申し込み	月額使用料	参照ページ
留守番電話サービス	必要	有料	P.442
キャッチホン	必要	有料	P.443
転送でんわサービス	必要	無料	P.444
迷惑電話ストップサービス	不要	無料	P.445
発信者番号通知サービス	不要	無料	P.61
番号通知お願いサービス	不要	無料	P.445
公共モード（ドライブモード）	不要	無料	P.80
公共モード（電源OFF）	不要	無料	P.81
デュアルネットワークサービス	必要	有料	P.446
英語ガイダンス	不要	無料	P.446
マルチナンバー	必要	有料	P.448
2in1	必要	有料	P.449
OFFICEED	必要	有料	P.455
メロディコール	必要	有料	P.105

- ネットワークサービスセンターに接続して操作する場合、「圏外」のときは操作できません。
- 「停止」とは、留守番電話サービス、転送でんわサービスなどの契約そのものを解約するものではありません。
- お申し込み、お問い合わせについては、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。
- 本書では各ネットワークサービスの概要を、FOMA 端末のメニューを使って操作する方法で説明しています。詳細は『ご利用ガイドブック（ネットワークサービス編）』をご覧ください。

留守番電話サービス

留守番電話サービス

電波の届かないところにいるとき、電源を切っているとき、電話に出られないときなどに、音声電話／テレビ電話をかけてきた相手に応答メッセージでお答えし、お客様に代わって伝言メッセージをお預かりするサービスです。
- ●「伝言メモ設定」（P.83）を同時に設定しているときに、留守番電話サービスを優先させるためには、伝言メモの応答時間よりも留守番電話サービスの呼出時間を短く設定してください。
- ●留守番電話サービスを「開始」にしているときに、かかってきた音声電話やテレビ電話に応答しなかった場合には、「着信履歴」には「不在着信履歴」として記憶され、「不在着信あり」のデスクトップアイコンが待受画面に表示されます。
- ●伝言メッセージは1件あたり最長3分、音声電話とテレビ電話それぞれ最大20件録音／録画でき、最長72時間保存されます。

留守番電話サービスの基本的な流れ

留守番電話サービスを開始に設定する

↓

お客様のFOMA端末に音声電話／テレビ電話がかかる

↓

音声電話／テレビ電話に出ないと留守番電話サービスセンターに接続される

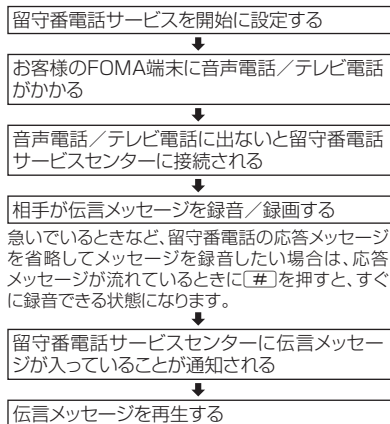
↓

相手が伝言メッセージを録音／録画する

急いでいるときなど、留守番電話の応答メッセージを省略してメッセージを録音したい場合は、応答メッセージが流れているときに[#]を押すと、すぐに録音できる状態になります。

↓

留守番電話サービスセンターに伝言メッセージが入っていることが通知される

↓

伝言メッセージを再生する

留守番電話サービスを利用する

1 [MENU]▶「電話機能」▶「留守番電話サービス」▶以下の項目から選択

留守番メッセージ再生※…音声電話の伝言メッセージまたはテレビ電話の伝言メッセージのどちらを再生するか選択すると、留守番電話サービスセンターに電話がかかります。

このあとは音声ガイダンスの指示に従って伝言メッセージの再生をします。

留守番サービス開始※…留守番電話サービスを開始します。呼出時間（000～120秒）を0秒に設定した場合、かかってきた電話は「着信履歴」に記憶されません。

留守番サービス停止※…留守番電話サービスの利用を一時的に停止します。

留守番呼出時間設定…呼出時間（000～120秒）のみを変更します。

留守番電話サービスセンターに接続されるまでの間は、電話に出ることができます。

留守番設定確認※…留守番設定確認画面のサブメニューから、「留守番サービス開始、留守番サービス停止、呼出時間設定、テレビ電話対応ON、テレビ電話対応OFF」が選択できます。

留守番サービス設定※…音声電話またはテレビ電話の留守番電話サービスの設定を変更します。

留守番電話サービスセンターに電話がかかります。

このあとは音声ガイダンスの指示に従って設定してください。

メッセージ問合せ…伝言メッセージがあるかどうかを確認します。

件数増加鳴動設定…留守番電話サービスセンターで預かっている伝言メッセージが増えたとき、専用のお知らせ音を鳴らします。

音声電話／テレビ電話による伝言メッセージのときのみ有効です。

表示消去…待受画面に表示された「[留守番電話アイコン]」（留守番電話アイコン）などを消去します。

留守番テレビ電話設定…テレビ電話の伝言メッセージに対応するかどうかを設定します。

※ 2in1のモードがデュアルモードの場合は、AナンバーとBナンバーの選択画面が表示されます。ただし、「留守番設定確認」ではBモードの場合も選択画面が表示されます。

おしらせ

◆キャラ電で留守番電話に接続された場合、DTMF操作が行えません。サブメニューよりDTMF送信モードに切り替えてください。→P.66

<留守番サービス停止>

◆サービス停止中でも月額使用料はかかります。

<留守番設定確認>

◆2in1のBナンバーの設定内容を確認した場合は、サービス中か停止中のみの情報が表示されます。

<メッセージ問合せ>
◆留守番電話サービスセンターで伝言メッセージをお預かりしている場合、音声電話／テレビ電話による伝言メッセージは、待受画面に「」（留守番電話アイコン）などと「 留守」（「留守番電話あり」のデスクトップアイコン）を表示します。
◆留守番電話アイコンはお預かりしている伝言メッセージの件数によって、「」「」「」…「」（10件以上）と表示が替わります。
表示される伝言メッセージの件数は、新しい伝言メッセージを再生するときにガイダンスで案内する件数です。保存した伝言メッセージの件数は含まれません。
◆メッセージ問合せ後にお預かりしたメッセージは、本機能で確認できない場合があります。

<件数増加鳴動設定>
◆2in1のモードがAモードまたはBモードの場合は、利用しない電話番号に対する伝言メッセージが録音されても、お知らせ音は鳴りません。

<表示消去>
◆留守番電話アイコンを消去しても、伝言メッセージは消去されません。メッセージ問合せを行うと再び留守番電話アイコンが表示されます。

電源OFF・圏外時着信お知らせサービス

着信通知

電源が入っていないときや圏外のときに着信があった場合、その着信の情報（着信日時や発信者番号）を、再び電源を入れたときや圏内になったときにSMS（留守番着信通知）でお知らせします。

1 **MENU▶「電話機能」▶「発着信・通話設定」▶「着信通知」▶以下の項目から選択**

開始…着信通知を開始します。
- **全着信**…すべての着信を通知します。
- **発番号あり**…番号を通知している着信のみ通知します。

停止…着信通知を受けないようにします。
設定確認…着信通知の設定を確認します。

おしらせ

<開始>
◆SMS一括拒否を設定している場合でも、履歴は通知されます。

キャッチホン

キャッチホン

音声電話中に別の音声電話がかかってきたときに、通話中着信音でお知らせし、現在の通話を保留にして新しい音声電話に出ることができるサービスです。また、通話中の音声電話を保留にして、新たにお客様の方から別の相手へ音声電話をかけることもできます。
- キャッチホンを利用する場合は、あらかじめ「通話中の着信動作選択」（P.447）を「通常着信」に設定してください。ほかの設定になっている場合は、キャッチホンを開始しても音声通話中にかかってきた音声電話に応答することができません。
- キャッチホンを開始し、「通話中の着信動作選択」を「通常着信」に設定していれば、音声通話中にテレビ電話の着信があったとき、テレビ電話中に音声電話またはテレビ電話の着信があったときに、あとからかかってきた着信に応答することができます。ただし、この場合は通話中の音声電話やテレビ電話を終了する必要があります（現在の通話を保留にすることはできません）。→P.447

キャッチホンを利用する

1 **MENU▶「電話機能」▶「その他ネットワークサービス」▶「キャッチホン」▶以下の項目から選択**

開始…キャッチホンを有効にします。
停止…キャッチホンを無効にします。
設定確認…キャッチホンの設定を確認します。

おしらせ

<開始>
◆音声電話を通話中保留にしているときに音声電話がかかってくると、保留が解除され通話中の状態となります。

通話中の音声電話を保留にして、かかってきた音声電話に出る

1 **通話中に「ププ…ププ…」という音が聞こえたら**

最初の相手との通話は自動的に保留となり、あとからかかってきた音声電話を受けます。

2 最初の相手との通話に切り替える

■ あとからかかってきた相手との通話を終了する場合
▶[終話]▶[通話]

あとからかかってきた相手との通話が終了し、最初の相手との通話に切り替わります。

■ あとからかかってきた相手との通話を保留にする場合
▶[通話]

あとからかかってきた相手との通話が保留となり、最初の相手との通話に切り替わります。
[通話]を押すたびに通話の相手が切り替わります。

■ 保留中の音声電話を終了する場合
▶[MENU]［サブメニュー］▶「保留呼切断」

通話中の音声電話を終了して、かかってきた音声電話に出る

1 通話中に「ププ…ププ…」という音が聞こえたら[終話]

最初の相手との通話が切れ、着信音が鳴ります。

2 [通話]

あとからかかってきた音声電話を受けます。

通話中の音声電話を保留にして、別の相手に音声電話をかける

1 通話中に別の相手の電話番号をダイヤル▶[通話]

最初の相手との通話は自動的に保留となり、新しくかけた相手との通話に切り替わります。
電話帳、着信履歴、リダイヤルからも検索することができます。→P.68、94

2 最初の相手との通話に切り替える

■ 新しくかけた相手との通話を終了する場合
▶[終話]▶[通話]
新しくかけた相手との通話が終了し、最初の相手との通話に切り替わります。

■ 新しくかけた相手との通話を保留にする場合
▶[通話]
新しくかけた相手との通話が保留となり、最初の相手との通話に切り替わります。
[通話]を押すたびに通話の相手が切り替わります。

■ 保留中の音声電話を終了する場合
▶[MENU]［サブメニュー］▶「保留呼切断」

転送でんわサービス

転送でんわ

電波が届かないところにいるとき、電源が入っていないとき、設定した呼出時間内に応答がなかったときなどに、音声電話／テレビ電話を転送するサービスです。

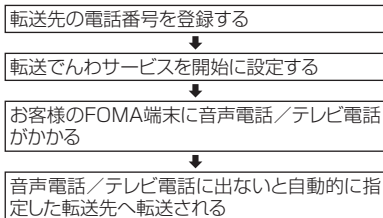
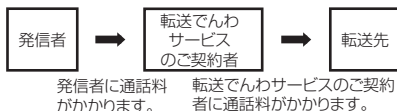
- 「伝言メモ設定」（P.83）を同時に設定しているときに、転送でんわサービスを優先させるためには、伝言メモの応答時間よりも転送でんわサービスの呼出時間を短く設定してください。
- 一部ご利用になれない料金プランがあります。
- 転送でんわサービスを「開始」にしているときに、かかってきた音声電話やテレビ電話に応答しなかった場合には、「着信履歴」には「不在着信履歴」として記憶され、「不在着信あり」のデスクトップアイコンが待受画面に表示されます。

転送でんわサービスの基本的な流れ

転送先の電話番号を登録する
↓
転送でんわサービスを開始に設定する
↓
お客様のFOMA端末に音声電話／テレビ電話がかかる
↓
音声電話／テレビ電話に出ないと自動的に指定した転送先へ転送される

転送でんわサービスの通話料について

発信者 ➡ 転送でんわサービスのご契約者 ➡ 転送先

発信者に通話料がかかります。
転送でんわサービスのご契約者に通話料がかかります。

転送でんわサービスを利用する

1 [MENU]▶「電話機能」▶「その他ネットワークサービス」▶「転送でんわ」▶以下の項目から選択

転送サービス開始※1…転送先や呼出時間を設定し、「開始」を選択します。

- **転送先設定**…転送先の電話番号を入力します。
  設定すると「転送先設定」に「★」が付きます。
  - [上]または[下]を押すと電話帳を検索して入力できます。
  電話帳の検索のしかた→P.93

- **呼出時間設定**…呼出時間（000～120秒）を入力します。
  設定すると「呼出時間設定」に「★」が付きます。0秒に設定した場合、かかってきた電話は「着信履歴」に記憶されません。
- **開始**…転送でんわサービスを有効にします。

転送サービス停止※1…転送でんわサービスを無効にします。

転送先変更…転送先の電話番号を入力し、「転送先変更」または「転送先変更＋転送開始」を選択します。「転送先変更＋転送開始」を選択すると、同時に転送でんわサービスを「開始」に設定できます。

転送先通話中時設定※2…転送先が通話中のとき、かかってきた音声電話／テレビ電話を留守番電話サービスセンターに接続します。

転送サービス設定確認※1…転送でんわサービスの設定を確認します。

※1 2in1のモードがデュアルモードの場合は、AナンバーとBナンバーの選択画面が表示されます。ただし、「転送サービス設定確認」ではBモードの場合も選択画面が表示されます。

※2「留守番電話サービス」へのご契約が必要です。

おしらせ

<転送サービス開始>

◆2in1のモードがBモードの場合、「転送先設定」と「呼出時間設定」は選択できません。

◆転送でんわサービスをいったん停止したあと、同じ転送先と呼出時間で再開する場合は、転送先電話番号や呼出時間の設定は不要です。

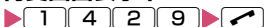
<転送先変更>

◆2in1のモードがBモードの場合、「転送先変更＋転送開始」は選択できません。

<転送サービス設定確認>

◆2in1のBナンバーの設定内容を確認した場合は、「開始中」または「停止中」のみの情報が表示されます。

転送ガイダンスの有無を設定する

1 待受画面表示中
▶[1][4][2][9]▶[発信]

- 音声ガイダンスに従って設定してください。
- 詳しくは『ご利用ガイドブック（ネットワークサービス編）』をご覧ください。

迷惑電話ストップサービス

迷惑電話ストップ

いたずら電話などの「迷惑電話」を着信しないように登録することができます。着信拒否登録すると、以後の着信を自動的に拒否し、相手にはガイダンスで応答します。

- 着信拒否登録した電話番号から電話がかかってきても、着信音は鳴りません。また、「着信履歴」にも記憶されません。

迷惑電話ストップサービスを利用する

1 [MENU]▶「電話機能」▶「発着信・通話設定」▶「迷惑電話ストップ」▶以下の項目から選択

迷惑電話着信拒否登録…最後に着信応答した迷惑電話を拒否登録します。

電話番号指定拒否登録…電話番号を入力、もしくは電話帳や着信履歴などから引用して拒否登録します。

- [ ]または[ ]を押すと電話帳を検索して入力できます。電話帳の検索のしかた→P.93
- [ ]を押すと着信履歴、[ ]を押すとリダイヤルを検索して入力できます。

迷惑電話1件登録削除…最後に登録した電話番号を1件削除します。同様の操作を繰り返し行うことにより、最後に登録した順より1件ずつ削除することができます。

迷惑電話全登録削除…拒否登録をすべて削除します。

拒否登録件数確認…拒否登録した件数を確認します。

番号通知お願いサービス

番号通知お願いサービス

電話番号を通知してこない音声電話／テレビ電話に対して、番号通知のお願いをガイダンスで応答し、自動的に電話を切断するサービスです。

- 番号通知お願いサービスによって着信しなかった電話は、「着信履歴」に記憶されず、「不在着信あり」のデスクトップアイコンも表示されません。

番号通知お願いサービスを利用する

1 MENU▶「電話機能」▶「発着信・通話設定」▶「番号通知お願いサービス」▶以下の項目から選択

開始…番号通知お願いサービスを開始します。

停止…番号通知お願いサービスを停止します。

設定確認…番号通知お願いサービスの設定を確認します。

デュアルネットワークサービス

デュアルネットワーク

お使いになっているFOMA端末の電話番号でmova端末をご利用いただけるサービスです。FOMAとmovaのサービスエリアに応じた使い分けが可能です。

- FOMA端末とmova端末を同時に利用することはできません。
- デュアルネットワークサービスの切り替え操作は、サービスを利用していない端末から行ってください。

デュアルネットワークサービスを利用する

1 MENU▶「電話機能」▶「その他ネットワークサービス」▶「デュアルネットワーク」▶以下の項目から選択

デュアルネットワーク切替…切り替えにはネットワーク暗証番号の入力が必要です。

ネットワーク暗証番号について→P.126

デュアルネットワーク状態確認…現在デュアルネットワークサービスを利用可能かどうかを確認します。

おしらせ

◆海外でFOMA端末を利用して帰国したあと、mova端末でデュアルネットワークサービスを利用する場合は、FOMA端末の電源を入れてから利用してください。

<デュアルネットワーク切替>

◆ネットワークの切り替えを行う場合は、利用可能状態の端末の通信を終了してから切り替えの操作を行ってください。

英語ガイダンス

英語ガイダンス

「留守番電話サービス」などの各種ネットワークサービス設定時のガイダンスや、圏外などの音声ガイダンスを英語に設定することができます。

項目	言語	ガイダンス
発信時（各種ネットワークサービス設定時のガイダンスを含む）	日本語	日本語ガイダンスが流れます。
	英語	英語ガイダンスが流れます。
着信時（相手がかけてきたときに相手に流れるガイダンス）	日本語	日本語ガイダンスが流れます。
	日本語＋英語	最初に日本語ガイダンスが流れ、そのあとに英語ガイダンスが流れます。
	英語＋日本語	最初に英語ガイダンスが流れ、そのあとに日本語ガイダンスが流れます。

英語ガイダンスを利用する

1 MENU▶「電話機能」▶「その他ネットワークサービス」▶「英語ガイダンス」▶以下の項目から選択

ガイダンス設定…設定内容を以下の項目から選択します。

- **発信時＋着信時**…発信時の言語を「日本語、英語」から選択し、次に着信時の言語を「日本語、日本語＋英語、英語＋日本語」から選択します。
- **発信時**…発信時の言語のみを「日本語、英語」から選択します。
- **着信時**…着信時の言語のみを「日本語、日本語＋英語、英語＋日本語」から選択します。

ガイダンス設定確認…ガイダンスの設定を確認します。

おしらせ

◆発信者側･受信者側ともに本サービスを利用している場合は、発信者側の発信時の設定が着信者側の着信時の設定より優先されます。

ドコモへのお問合せ

ドコモへのお問合せ

ドコモ総合案内・受付や故障の問い合わせ先へ電話をかけることができます。

- お使いのドコモUIMカードによっては、表示される項目が異なる場合や表示されない場合があります。

1 MENU ▶「便利ツール」▶「ドコモへのお問合せ」▶以下の項目から選択

ドコモ故障問合せ…故障の問い合わせ先へ電話をかけます。

ドコモ総合案内・受付…総合案内・受付へ電話をかけます。

海外紛失・盗難等…海外から紛失、盗難などの問い合わせ先に電話をかけることができます。

海外故障…海外から故障問い合わせ先に電話をかけることができます。

通話中に電話がかかってきたときの応対方法を選択する

通話中機能選択

「留守番電話サービス」「転送でんわサービス」「キャッチホン」をご契約されているお客様の通話中にかかってきた音声電話／テレビ電話および64Kデータ通信にどのように対応するかを設定できます。

- 「留守番電話サービス」「転送でんわサービス」「キャッチホン」が未契約の場合は、通話中にかかってきた着信に応答できません。
- 「通話中の着信動作選択」を利用するには、「通話中着信設定」を「開始」に設定してください。なお、「キャッチホン」を「開始」に設定している場合は、「通話中着信設定」を「開始」に設定する必要はありません。

通話中の着信動作を選択する

通話中の着信動作選択

1 MENU ▶「電話機能」▶「発着信・通話設定」▶「通話中の着信動作」▶「通話中の着信動作選択」▶以下の項目から選択

留守番電話…「キャッチホン」や「留守番電話サービス」の設定にかかわらず、通話中にかかってきた音声電話、テレビ電話を留守番電話サービスセンターへ接続します。

転送でんわ…「キャッチホン」や「転送でんわサービス」の設定にかかわらず、通話中にかかってきた音声電話、テレビ電話を転送先へ転送します。

着信拒否…通話中にかかってきた音声電話、テレビ電話および 64K データ通信の着信を拒否します。

通常着信…音声通話中に音声電話がかかってきた場合、「キャッチホン」が「開始」に設定されているときは「キャッチホン」の利用が可能です。音声通話中（「キャッチホン」が「停止」に設定されているとき）、テレビ電話中や64Kデータ通信中の場合、以下のいずれかの動作が可能です。

- 通話中の音声電話、テレビ電話および64Kデータ通信を終了し、かかってきた音声電話、テレビ電話および64Kデータ通信に応答することができます。
- 通話中にかかってきた音声電話、テレビ電話および64Kデータ通信を、サブメニューから手動で操作できます。→P.448
- 「留守番電話サービス」や「転送でんわサービス」が「開始」に設定されている場合は、その設定に従います。

通話中着信設定

「通話中の着信動作選択」で選択した機能設定を有効／無効にしたり、設定内容を確認します。

1 MENU ▶「電話機能」▶「発着信・通話設定」▶「通話中の着信動作」▶「通話中着信設定」▶以下の項目から選択

開始…「通話中の着信動作選択」の設定を有効にします。

停止…「通話中の着信動作選択」の設定を無効にします。

設定確認…「通話中の着信動作選択」の設定を確認します。

通話中の電話や64Kデータ通信を終了して着信に応答する

● 通話中と着信が同じ種類の場合

<例：通話中の音声電話を終了して、かかってきた音声電話に出る場合>

1 通話中に「ププ…ププ…」という音が聞こえたら [終話]

通話中の電話が切れ、着信音が鳴ります。

■ テレビ電話、64Kデータ通信の場合
▶[終話]

2 [通話キー]

かかってきた音声電話を受けます。

■ 64Kデータ通信の場合
▶パソコン側で着信操作を行う

● 通話中と着信の種類が異なる場合

音声通話中にテレビ電話または64Kデータ通信の着信があったとき、テレビ電話中に音声電話または64Kデータ通信の着信があったとき、64Kデータ通信中に音声電話またはテレビ電話の着信があったときは次の操作をすれば通話中の電話や64Kデータ通信を終了して着信に応答できます。
<例：通話中のテレビ電話を終了して、かかってきた音声電話に出る場合>

1 通話中に「ププ…ププ…」という音が聞こえ、音声電話着信中画面が表示される

64Kデータ通信の着信があった場合は「ププ・・ププ・・」という音は鳴りません。

2 [通話キー]

■ 64Kデータ通信の場合
▶[終話キー]▶パソコン側で着信操作を行う

手動で着信拒否したり、転送でんわサービスや留守番電話サービスに接続する

<例：通話中着信設定が「通話中着信設定開始」、通話中の着信動作選択が「通常着信」の場合>

1 通話中に「ププ…ププ…」という音が聞こえたら、[MENU]［サブメニュー］

2 かかってきた電話の対応方法を選択

■ かかってきた電話を着信拒否する場合
▶「着信拒否」

■ かかってきた電話を転送先へ転送する場合
▶「転送でんわ」

■ かかってきた電話を留守番電話サービスセンターに接続する場合
▶「留守番電話」
いずれの場合も最初の相手との通話に戻ることができます。

遠隔操作を設定する

遠隔操作設定

「留守番電話サービス」や「転送でんわサービス」などを、プッシュ式の一般電話や公衆電話、ドコモの携帯電話などから操作できるようにします。

- 海外でネットワークサービスを利用する場合は、あらかじめ「遠隔操作設定」を「開始」にしておく必要があります。
- 公衆電話などからネットワークサービスを操作する方法について詳しくは、『ご利用ガイドブック（ネットワークサービス編）』をご覧ください。

1 [MENU]▶「電話機能」▶「その他ネットワークサービス」▶「遠隔操作設定」▶以下の項目から選択

開始…遠隔操作を有効にします。
停止…遠隔操作を無効にします。
設定確認…遠隔操作の設定を確認します。

マルチナンバー

マルチナンバー

FOMA端末の電話番号として基本契約番号のほかに、付加番号1と付加番号2の最大2つの番号を追加してご利用いただけます。

- 2in1と同時に利用することはできません。
- 発着信中画面には、マルチナンバー（基本契約番号、付加番号1、付加番号2）に対応した登録名が表示されます。
- リダイヤル／発信履歴や着信履歴から発信する場合、以前の発信や着信したマルチナンバーが表示され、この番号で発信します。

マルチナンバーを利用する

1 [MENU]▶「電話機能」▶「その他ネットワークサービス」▶「マルチナンバー」▶以下の項目から選択

通常発信番号設定…通常発信するときに使用する電話番号を設定します。
- **基本契約番号**※…ご契約の電話番号（基本契約番号）で発信するように設定します。
- **付加番号1、付加番号2**※…付加番号で発信するように設定します。

通常発信番号設定確認…通常発信するときに使用する電話番号を確認します。

電話番号設定…マルチナンバーご契約時に通知された付加番号をFOMA端末に登録します。

▶付加番号を登録（または変更）する項目を反転▶[カメラ]［編集］▶登録名を入力▶付加番号を入力

付加番号は26桁まで入力できます。

- すでに登録名、付加番号を編集した項目を選択した場合、詳細が表示されます。
- 「電話番号設定」を選択したときに表示されるマルチナンバー電話番号設定画面のサブメニューについて→P.449

着信音設定…付加番号1または付加番号2に着信したときの着信音をそれぞれ設定します。→P.102

※ 登録名を変更している場合は、変更した登録名が表示されます。

おしらせ

◆ドコモUIMカードを抜いたり、差し替えた場合、FOMA端末に登録していたマルチナンバーの設定（名称、電話番号など）が消去されることがあります。このような場合は、再度登録を行ってください。

＜電話番号設定＞

◆登録名は、マルチナンバーの各種設定操作を行うときや、通話ごとに使用する電話番号を選択したときなどに表示されます。

＜着信音設定＞

◆着信音の設定が重なった場合の優先順位については、P.103をご覧ください。

サブメニュー

❖マルチナンバー電話番号設定画面

編集…基本番号の名前または付加番号の電話番号と名前を編集します。

1件削除…基本番号の名前または付加番号の電話番号と名前を1件削除します。

全削除…基本番号の名前とすべての付加番号の電話番号と名前を削除します。

1回の通話ごとに電話番号を切り替えて発信する

電話をかけるたびに使用する電話番号を切り替えて発信します。

1 電話番号入力画面（P.64）▶[MENU]［サブメニュー］▶「マルチナンバー」▶以下の項目から選択

基本契約番号※…ご契約の電話番号（基本契約番号）で発信するように設定します。

付加番号1、付加番号2※…付加番号で発信するように設定します。

設定消去…設定を解除し「通常発信番号設定」の設定で発信するように設定します。

※ 登録名を変更している場合は、変更した登録名が表示されます。

2 [発信]

音声電話を発信します。

■ テレビ電話を発信する場合

▶[カメラ]［テレビ電話］

おしらせ

◆電話帳の詳細画面、リダイヤル／発信履歴／着信履歴の詳細画面などのサブメニューからも電話番号を切り替えて発信できます。

2in1

2in1

1つの携帯電話で、2電話番号・2メールアドレスが使え、専用のモード機能を利用することで、あたかも2つの携帯電話を使い分けるようにご利用いただけるサービスです。

- 本機能では、お客様の電話番号・メールアドレスを「Aナンバー・Aアドレス」、追加の電話番号・メールアドレスを「Bナンバー・Bアドレス」と呼びます。
- マルチナンバーと同時に利用することはできません。

モードについて

2in1では、モードを「Aモード」「Bモード」または「デュアルモード」に設定できます。

モード	内容
Aモード	お客様電話番号（Aナンバー）での発信とｉモードメール（Aアドレス）での送信、およびその関連データの閲覧ができます。
Bモード	2in1電話番号（Bナンバー）での発信とｉモードメール（Bアドレス）での送信、およびその関連データの閲覧ができます。
デュアルモード	A･Bモードの両方の機能を備えたモードです。

- モードごとに利用できるサービスについては別表1（P.451）をご覧ください。

おしらせ

◆Bナンバー・Bアドレスの情報は、以下の操作で取得できます。

- Bナンバー：Bナンバーのプロフィール画面からサブメニューの「2in1」を実行する→P.406

- Bアドレス：Bナンバーのプロフィールの登録時にメールアドレスの「自動取得」を実行する→P.407

◆2in1の詳細は『ご利用ガイドブック（2in1編）』をご覧ください。

◆ｉモード契約中は、Bモードでもパケット通信が可能です。

◆2in1契約済みのドコモUIMカードから未契約のドコモUIMカードに差し替える場合は、Aモードに設定してから差し替えてください。

◆2in1利用中にドコモUIMカードを入れ替える場合は、Bナンバーのプロフィールを初期化したあと、ドコモUIMカードを入れ替えてください。→P.406

■［別表1］モードごとに利用できるサービスについて

●モードごとに動作が異なる項目のみ記載しています（Aモードと共通の動作をするものは除いています）。

サービス			Aモード	Bモード	デュアルモード
音声電話／テレビ電話	発信		Aナンバー	Bナンバー	発信時に選択可※1
	着信※2		すべて		
電話帳※3	表示※4		A・共通	B・共通	すべて
	名前変換※5		A・共通	B・共通	すべて
	新規登録時の2in1設定		A	B	登録時に選択可
	赤外線／iC／Bluetooth／microSDカードからの全件受信		送信元の電話帳2in1設定をコピー※6		
	赤外線／iC／Bluetooth／microSDカードからの1件受信		A	B	登録時に選択可※7
	ドコモUIMカードの電話帳	ドコモUIMカードへコピー	電話帳2in1設定は共通		
		ドコモUIMカードから本体へコピー	A	B	A
リダイヤル	表示		Aナンバー発信	Bナンバー発信	すべて
着信履歴	表示		Aナンバー着信	Bナンバー着信	すべて
メール／SMS	表示※8		Aアドレスで送受信したメール Aナンバーで送受信したSMS	Bアドレスで送受信したメール Bナンバーで受信したSMS	Aアドレスで送受信したメール Bアドレスで送受信したメール Aナンバーで送受信したSMS Bナンバーで受信したSMS
	送信		Aアドレスからのメール Aナンバーからの SMS	Bアドレスからのメール Bナンバーからの SMS 送信不可	Aアドレスからのメール Aナンバーからの SMS Bアドレスからのメール Bナンバーからの SMS 送信不可
	受信		Aアドレス宛てのメール／Aナンバー宛てのSMS（鳴動あり） Bアドレス宛てのメール／Bナンバー宛てのSMS（鳴動なし）	Aアドレス宛てのメール／Aナンバー宛てのSMS（鳴動なし） Bアドレス宛てのメール／Bナンバー宛てのSMS（鳴動あり）	Aアドレス宛てのメール／Aナンバー宛てのSMS（鳴動あり） Bアドレス宛てのメール／Bナンバー宛てのSMS（鳴動あり）

<table>
<tr><th colspan="3">サービス</th><th>Aモード</th><th>Bモード</th><th>デュアルモード</th></tr>
<tr><td rowspan="5">メール／SMS</td><td colspan="2">赤外線／ｉC／Bluetooth／microSDカードからの全件受信</td><td colspan="3">送信元の状態をコピー※6</td></tr>
<tr><td colspan="2">赤外線／ｉC／Bluetooth／microSDカードからの1件受信</td><td colspan="3">A</td></tr>
<tr><td rowspan="2">ドコモUIMカード（SMSのみ）</td><td>ドコモUIMカードへコピー</td><td colspan="3">A</td></tr>
<tr><td>ドコモUIMカードから本体へコピー</td><td>A</td><td>表示不可</td><td>A</td></tr>
<tr><td colspan="3">ｉアプリ</td><td>すべて利用可能</td><td>利用可能※9</td><td>利用可能※10</td></tr>
<tr><td colspan="3">プロフィール</td><td>Aナンバー･Aアドレス</td><td>Bナンバー･Bアドレス</td><td>A・Bナンバー
A・Bアドレス</td></tr>
</table>

※1「電話帳2in1設定」が「A」･「AB」（共通）の設定の電話帳の場合はAナンバー発信、「B」の設定の電話帳の場合はBナンバー発信が初期状態になります。
※2 電話帳指定着信許可、電話帳指定着信拒否を設定しているときは、利用しているモードと電話帳2in1設定にかかわらず、着信を許可／拒否します。
※3 電話帳にシークレット登録をしている場合、シークレットモードが優先されます。
※4「電話帳2in1設定」にかかわらず「1件コピー」でmicroSDカードにコピーした電話帳は詳細を表示することができます。
「選択コピー」、「全コピー」でmicroSDカードにコピーした電話帳は「電話帳2in1設定」に従って表示されます。
※5 発信元番号、発信先番号、送信元番号、送信先番号、送信元アドレス、送信先アドレスが電話帳に登録されている場合に、電話帳データとの照合により、各番号・各アドレスが登録されている電話帳データの名称に変換して表示する機能になります。
※6 送信元が2in1非対応機種の場合、すべてAになります。
※7 microSDカードから1件コピーした場合は、Aとして登録されます。
※8 メール／SMSをmicroSDカードにコピーした場合、2in1のモードにかかわらず一覧表示されますが、詳細表示については宛て先の2in1のモードに従います。
※9 メール連動型ｉアプリ、ｉアプリ待受画面は除きます。
※10 ｉアプリ待受画面は除きます。

おしらせ

◆送信メール全削除、受信メール全削除の場合、2in1の設定により表示されていないメール、シークレットモードにより表示されていないメールも削除されます。

2in1を利用する

● 2in1をONに設定する

2in1をONに設定します。

1 待受画面表示中▶2（1秒以上）▶端末暗証番号を入力▶「YES」

2in1をONにすると、2in1画面が表示され、引き続き各種設定を行うことができます。

■ すでに2in1がONの場合
端末暗証番号の入力後にモード切替画面が表示されます。

● 2in1の各種設定を行う

各種操作設定を行います。

1 MENU▶「電話機能」▶「2in1」▶端末暗証番号を入力▶「YES」▶以下の項目から選択

■ すでに2in1がONの場合
端末暗証番号の入力後に2in1をONにするかどうかの確認画面は表示されず、2in1画面が表示されます。

モード切替…2in1のモードを「Aモード、Bモード、デュアルモード」から選択します。
モードについてはP.449を参照してください。

電話帳2in1設定…2in1利用時、モードによって表示される電話帳を「電話帳2in1設定」または「グループ2in1設定」から設定します。設定する電話帳または電話帳のグループを反転して■［切替］でモードを選択し、📷［完了］を押します。■［切替］を押すごとにA→B→ABの順に切り替わります。
電話帳の検索のしかた→P.93

モード別待受画面設定…Aモード、Bモード、またはデュアルモードのときに表示する待受画面をそれぞれ設定します。→P.112
設定を変更した項目には「★」が付きます。
お買い上げ時の設定に戻す場合は📷［解除］を押します。

番号別発着信設定…2in1利用時、各電話番号での発着信時の動作の設定をします。

- **発着信番号表示設定**…発着信時に「Aナンバー（Aアドレス）」と「Bナンバー（Bアドレス）」のどちらの情報（名前や電話番号、メールアドレスなど）かわかるように、文字色を変えて表示するように設定します。
■［切替］を押すとパレットの色（16色と256色）を切り替えることができます。
お買い上げ時の設定に戻す場合は📷［リセット］を押します。
- **着信設定**…「Aナンバー（Aアドレス）」、「Bナンバー（Bアドレス）」でのそれぞれの着信動作を設定します。「音声着信設定」「テレビ電話着信設定」では、以下の①着信音、②着信画面、③イルミネーション、④バイブレーション、⑤応答メッセージを設定できます。「メール着信設定」では、以下の①着信音、③イルミネーション、④バイブレーションを設定できます。
- **音声着信設定、テレビ電話着信設定、メール着信設定**…各種着信時の動作の設定をします。

① 着信音設定：「着信音選択」（P.102）の操作2へ
② 着信画面設定：「着信音選択」（P.102）の操作2「■着信画像を設定する場合」へ
③ イルミネーション設定：「着信イルミネーション」（P.117）の操作1へ
④ バイブレーション設定：「バイブレータ設定」（P.104）の操作2へ
⑤ 応答メッセージ設定：「伝言メモを設定する」（P.83）の操作1で「ON」を選択後の操作へ

2in1機能OFF…2in1機能を無効にします。

着信回避設定…Aナンバー、Bナンバーの着信を規制します。

- **着信回避設定変更**…AナンバーおよびBナンバーの着信回避機能を設定します。
- **着信回避設定確認**…AナンバーおよびBナンバーの着信回避機能設定を確認します。
- **モード切替連動設定**…2in1機能のモード切替と着信回避設定が連動するように設定します。AモードのときはAナンバー、BモードのときはBナンバーの着信のみを許可し、デュアルモードのときは両方の着信を許可するように設定します。
※ 開始にしていると、「圏外」ではモード切り替えができません。
- **着信回避設定（海外）**…海外から着信回避を設定します（モード切替連動設定を開始にしている場合は停止されます）。

おしらせ

<電話帳2in1設定>
◆ドコモUIMカードの電話帳には、本機能を設定できません。
◆本機能で電話帳一覧画面から電話帳詳細画面を表示するには、サブメニューから「詳細表示」を選択してください。

<モード別待受画面設定>
◆モードがAモードの場合は、「待受画面」の設定に従って待受画面が表示されます。
◆プリインストールされている「ダイレクトメニュー」やダウンロードしたきせかえツールを設定中、またはｉアプリ待受画面やランダム待受画面が設定されている場合は、「Aナンバーと同じ」に設定していても各モードのお買い上げ時の画面が表示されます。
◆待受画面に設定できない画像はグレー表示され、選択できません。
◆画像のダウンロード時（P.210）や、データBOX（P.335）からでも設定できます。

<発着信番号表示設定>
◆以下の画面に表示される名前／電話番号／メールアドレスが設定した文字色で表示されます。
- 通話中／テレビ電話通話中画面
- 発信／着信中画面
- リダイヤル／発信履歴画面（一覧／詳細）
- 着信履歴画面（一覧／詳細）
- 送信／受信アドレス履歴画面（一覧／詳細）
- 着もじ送信メッセージ履歴画面

◆Aナンバー／Bナンバー(Aアドレス／Bアドレス)の設定は、2in1をOFFにした場合でも着信中画面などに反映されます。

<着信設定>
◆Aナンバー・Aアドレスと同じ設定にする場合は、各項目を「Aナンバーと同じ」に設定してください。
◆着信音の設定が重なった場合、着信音は優先順位に従って動作します。→P.103
◆Bナンバーで非通知の音声電話着信があった場合、「着信拒否設定」の設定に従います。また、「着信拒否設定」の設定が「許可」のときにテレビ電話着信があった場合は、「着信設定」の「テレビ電話着信設定」に従います。
◆メロディのダウンロード時（P.211）、データBOX（P.357）からでも設定できます。
ただし設定中のモードにかかわらず、Aモードの着信音に設定されます。
◆デュアルモード設定中に「着信音選択」「バイブレータ設定」「各種画面設定※」「着信イルミネーション」から設定を行おうとするとモードを選択する画面が表示されます。また、Bモードに設定中は「着信音選択」「バイブレータ設定」「各種画面設定※」「着信イルミネーション」にBモードの設定が行われます。
※「電話着信」「テレビ電話着信」「メール受信」設定時

1回の通話ごとに電話番号を切り替えて発信する

2in1をONに設定し、モードをデュアルモードにしている場合は、利用する電話番号を切り替えて発信できます。
●本機能が利用できるのは「電話帳／着信履歴／発信履歴／リダイヤル」の各詳細画面です。
<例：電話帳を利用して電話をかける場合>

1 電話帳詳細画面（P.94）▶MENU［サブメニュー］▶「発信設定」▶「2in1／マルチナンバー」▶以下の項目から選択

Aナンバー、Bナンバー…AナンバーまたはBナンバーで発信するように設定します。

設定消去…設定を解除し、電話帳の2in1設定に従って発信するように設定します。

おしらせ

◆次の操作を行った場合は、発信番号選択画面が表示され、そこから利用する電話番号を選択します。
- 電話番号入力画面で電話番号を入力して発信した場合
- 追加サービスに登録した特番からのサービスの利用時
- 送受信メール以外からPhone to機能を利用した場合
- 電話番号入力画面でイヤホンマイク（別売）などのスイッチを1秒以上押した場合

◆外部機器から発信·ATコマンド発信を行った場合、Aモード／デュアルモードのときはAナンバーで、BモードのときはBナンバーで発信します。

OFFICEED

OFFICEED

「OFFICEED」は指定されたIMCS（屋内基地局設備）で提供されるグループ内定額サービスです。ご利用には別途お申し込みが必要となります。
詳細はドコモの法人向けサイト（http://www.docomo.biz/html/service/officeed/）をご覧ください。

OFFICEED圏外転送機能を利用する

OFFICEED圏外転送機能を利用して、OFFICEED着信をOFFICEEDエリア外へ転送することができます。

1 MENU ▶「電話機能」▶「その他ネットワークサービス」▶「OFFICEED」▶以下の項目から選択

エリア表示設定…OFFICEEDエリア内にいるとき、「OFFICEED」を表示するかどうかを設定します。
「ON」を選択した場合、エリア表示設定を「ON」にするかどうかの確認画面が表示されます。

圏外転送開始…OFFICEED圏外転送機能を開始します。

圏外転送停止…OFFICEED圏外転送機能を停止します。

圏外転送設定確認…OFFICEED圏外転送機能の設定を確認します。

サービスを登録して利用する

追加サービス

ドコモから新しいネットワークサービスが追加されたときに、そのサービスをメニューに登録して利用します。

追加サービスや応答メッセージを登録する

1 MENU ▶「電話機能」▶「その他ネットワークサービス」▶「追加サービス」▶以下の項目から選択

追加サービス…新しいサービスを登録します。
▶「<未登録>」を反転▶MENU［サブメニュー］▶「設定追加」▶サービス名を入力▶以下の項目から選択

- **特番**…特番で接続します。
番号は20桁まで入力できます。
- **USSD**…サービスコードで接続します。
番号は40桁まで入力できます。

応答メッセージ設定…登録したネットワークサービスを「サービスコード（USSD）」で利用するときに、ネットワークから通知されるコマンドに対して応答メッセージを登録します。
▶「<未登録>」を反転▶MENU［サブメニュー］▶「設定追加」▶コマンドを入力▶応答メッセージ名を入力▶「YES」
コマンドは20桁まで入力できます。

■ 追加サービスや応答メッセージ設定を変更する場合
▶MENU［サブメニュー］▶「設定変更」

■ 追加サービスや応答メッセージ設定を削除する場合
▶MENU［サブメニュー］▶削除方法を選択

おしらせ

<追加サービス>
◆サービスを利用する場合には、ドコモから通知される「特番」または「サービスコード」を入力します。「特番」はサービスセンターに接続するための番号です。「サービスコード（USSD）」はサービスセンターに通知するためのコード番号です。

サブメニュー

❖追加サービス画面

❖応答メッセージ設定画面

設定追加、設定変更、1件削除、全削除…いずれかの項目を選択し実行します。

登録したサービスを利用する

1 MENU ▶「電話機能」▶「その他ネットワークサービス」▶「追加サービス」▶「追加サービス」

2 サービスを選択▶📷［送信］